

サイエンスカフェ

気候変動に適応した暮らしと安全 ～ 榴岡公園における気候変動適応策の立案 ～

サイエンスカフェとは、科学について市民と科学者が、気軽に話し合う場です。地球温暖化等が原因で、大型台風の発生や集中豪雨等の気候変動が生じ、毎年のように被害が発生している中、私たちはどのように適応していけばよいのでしょうか。榴岡公園を事例に、みなさんで考えていきましょう。

日時

2020年12月5日（土）
14：00～16：00

会場

仙台市榴ヶ岡市民センター
ミーティングルーム1
仙台市宮城野区五輪1丁目3番1号

定員

20名（先着順）

参加

無料



講師

東北工業大学 工学部
都市マネジメント学科
近藤 祐一郎 准教授

【主催】宮城県環境生活部環境政策課

【協力】東北工業大学

【共催】「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 榴ヶ岡市民センター

【運営・お問合せ先】

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 小林・亀崎

TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713 e-mail:melon@miyagi.jpn.org



本イベントは、みやぎ環境税を活用した宮城県の気候変動適応推進事業の一環で開催いたします。

タイムスケジュール

13:30 開場・受付開始

14:00 開会

14:05 講話

講師: 近藤祐一郎 准教授

気候変動による影響や将来予測、適応策について
分かりやすく解説していただきます。

14:45 休憩

14:50 榴岡公園の散策

寒くない服装
でおいで
ください。

気候変動に関するキーワードをもとに、参加者の
みなさんと公園内を散策しながら具体的な適応策
を考えます。

15:50 報告、講評

16:00 閉会

※終了後、アンケートへのご協力をお願いします。

講師

近藤 祐一郎 准教授
東北工業大学 工学部
都市マネジメント学科



大学では環境デザインや環境教育を専門分野としています。給食の牛乳パックを再利用したエコバッグ制作やダンボールによる震災復興の絵馬づくりなど、小学校や市民センターなどで数々の実践をなさってきました。卓球部の監督をされており、趣味はスノーボードなど。とても優しい先生です。



榴岡公園マップ

【新型コロナウイルス感染症対策について】

- 会場では、消毒や換気を行うほか、ソーシャルディスタンスが確保された座席を用意します。
- 参加の際には、手指消毒やマスクの着用、咳エチケットなどにご協力をお願いします。
- 発熱や息苦しさなどの症状がある方、2週間以内に海外(感染流行国)または国内の感染流行地域(クラスター等)へ旅行・出張された方は参加をご遠慮ください。
- 感染状況の拡大に伴い、中止になる場合があります。

【留意事項】

- ご記入いただいた情報は当企画以外には使用いたしません。
- 当日の内容は報告書作成等のために録画及び写真撮影をさせていただきます。あらかじめご了承願います。

お申込み

お申込みは、下記の電話番号におかけください。FAXの場合、以下の欄に必要事項を記入して送信してください。

TEL: 022-299-5666 FAX: 022-299-5690

(担当: 榴ヶ岡市民センター・野田)

氏名(ふりがな)	所属
電話番号	メールアドレス